

宗谷港港湾区域の低潮線保全に関する取組状況

我が国は四方を海に囲まれた海洋国家であり、国土面積が約38万km²（世界第61位）であるのに対して、領海と排他的経済水域を合わせた管轄水域は、約448万km²（世界第6位）と広く、国土面積の約1.2倍となっている。国土の狭い我が国にとって、排他的経済水域等は貴重な海洋エネルギー・鉱物資源の開発や水産資源の利用を排他的に行える貴重な場となっている。

低潮線は排他的経済水域等の幅を測定するための基線であることから、排他的経済水域等を確実に確保するためには低潮線の保全が極めて重要となる。

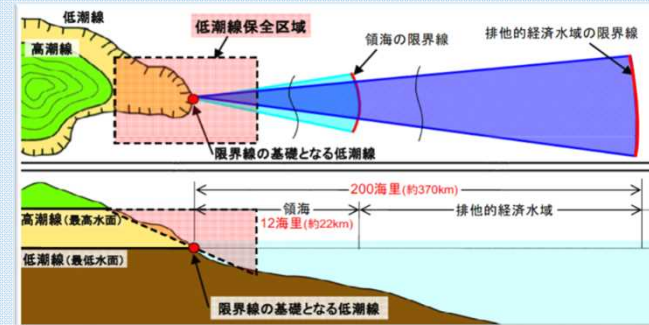
国土交通省 北海道開発局 稚内開発建設部 稚内港湾事務所では、宗谷港港湾区域内にある3箇所の低潮線保全区域について、厳しい自然環境下となる冬期を含む一年を通じて排他的経済水域等の基礎となる低潮線の人為的損壊行為や自然浸食による形状変化を海上及び陸上から巡視し、我が国国民の共通の財産である排他的経済水域の確保に努めている。



我が国における排他的経済水域及び宗谷港位置図



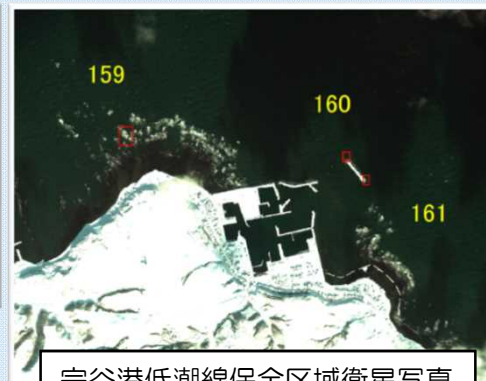
宗谷港低潮線保全区域図



低潮線と排他的経済水域の関係イメージ



政令番号:159



宗谷港低潮線保全区域衛星写真



政令番号:160

政令番号:161

宗谷港港湾区域の低潮線保全に関する取組み状況

